

あなたと議会をつなぐ

とういん 議会だより



委員会活動報告	2
町政を問う	7
傍聴者の声	15

令和3年1月15日

12月定例会
146号

発行 三重県東員町議会

総務建設常任委員会

委員会活動報告

○補助金等の研究

行政側より提出された「補助金等見直し調書」を基に、減額や廃止判断された補助金、検討を必要とする事業と、新たに提案された（仮称）地域コミュニティ（仮称）地域コミュニケーション再生応援交付金」などについて、何故そのような結論に至ったのか、趣旨や内容を深く掘り下げて考える「勉強会」を行いました。



限りある予算の範囲で、最も有効な補助金事業のあり方を委員会で考え抜き「暮らしやすい地域づくり」に向けた支援策を取りまとめていく予定です。

○公共交通のあり方

町の公共交通は、北勢線・路線バス・オレンジバスにより成り立っています。しかし、高齢化が進み、よりきめ細かなサービスの提供が必要となってきたり、よりよき交通体制を目指し検討しています。

今回、町民の通勤・通学の経由拠点であり、東西自由通路により飛躍的に利便性が向上した「桑名駅」と、自動運転バスの導入実験など「※Maas推進室」を設置し、将来の公共交通づくりに取り組んでいる桑名市役所に伺い、研修してきました。

委員会として、更なる桑名駅周辺の利便性向上について要望しました。

今後、類似した交通課題や外出支援対策などに取り組んでいる市町を視察する予定です。



新しく完成した自由通路

入手したさまざまな知見や見聞を参考にして、本町に適した持続可能な「新しい移動手段」を研究します。

※Maas（モビリティ・アズ・ア・サービスの略語）とは、「人々の移動を根本から変えるサービス」として、出発地から目的地までの移動を効率よく快適で便利にできる新たな交通手段の概念を意味します。

教育民生常任委員会

委員会 活動報告

○町民プールのあり方に関する提言書を提出

町民プールのあり方、存続について4月より調査し、10月に意見を集約しました。

また、現場を調査し正確な情報をつかみ、執行部と様々な角度から意見交換しました。

執行部は、これまで町民プールが果たした役割は大きいですが、プールの全面改修



町民プールの現状を視察

には4億円以上かかることや、これからのプール施設は夏の期間だけではなく、日ごろから利用できる健康増進の場としていくことが必要であるとの見解を示しました。

委員会としては、目的を明確にし、町民の理解を得られるように、町民プールの役割を絶つのではなく、何らかの方法で継続し、説明責任を果たすことを求めました。

○新型コロナウイルスに関する議会对応マニュアルを作成

新型コロナウイルス感染症拡大の中、議会機能を維持することを最優先に考えた「議会としての対応と議会運営」などについて、一定の基準を定めました。



AED操作訓練

○救命救急講習会を実施

11月19日、防災意識向上のため、東員消防署の職員による応急手当（救急車が来るまでの）の基礎知識を学びました。

一般会計
補正予算

12月定例会

福祉施策の充実を

～接種前の準備～

○新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

1922万円

「新型コロナウイルスワクチン」が実用化された場合に、迅速かつ適切に接種を開始できる体制を確保するためのシステム改修費用などです。



～高齢者にオレンジバスの利用拡大～

○おでかけ元気バス事業

215万円



令和3年4月から75歳以上および65歳以上75歳未満で、運転免許証を返納した方(運転経歴証明書取得者)に「おでかけ元気バス」を配布します。オレンジバス利用時に提示すると運賃が半額(100円)で利用できます。

12月定例会は、11月30日から12月15日までの会期で開かれました。令和2年度一般会計補正予算や国保・後期高齢者医療・介護保険・下水道特別会計補正予算、条例の制定、改正など、議案17件を全会一致、一部賛成多数で原案のとおり可決しました。

反対討論(大崎議員)

一般会計補正予算案の中で、町職員の一時金を減額します。

職員の生活の支えである一時金を減額する人事院勧告は、町民のために公務遂行する職員の生活と、地域経済に悪影響を及ぼすことと考え、反対します。

賛成討論(山崎議員)

本案は住民税課税システム改修経費や高齢者の外出を支援する「お出かけ元気バス事業」、妊婦健診や不妊治療費扶助経費のほか、人事院勧告に基づく人件費の引き下げなどを計上するものであり、適正に計上されていると認められるため、賛成します。

特別会計 補正予算

国保・下水道は職員構成の変動と
人事院勧告の実施に伴う人件費を計上しました。

後期高齢者医療

法改正に対応するためのシステム改修などの経費で、既定予算に歳入歳出それぞれ104万円を増額補正し、予算総額は3億7344万円となりました。

介護保険

職員構成の変動と人事院勧告による人件費や、国・県負担金等の精算に伴う返還金などで、既定予算に歳入歳出それぞれ7555万円増額補正し、予算総額は22億2529万円となりました。

主な条例

選挙運動の 公費負担制度

東員町議会議員及び
東員町長の選挙にお
ける選挙運動の公費
に関する条例の制定
について

議員の選挙運動用ビラの
配布が可能となります。
また、議員と町長の選挙
で、選挙運動用自動車の使
用、選挙運動用ポスターの
作成、選挙運動用ビラの作
成費用が選挙公営（公費）の
対象となりました。

期末手当の引き下げ （議員 町長 副町長 教育長 町職員）

東員町議会の議員の
議員報酬及び費用弁
償等に関する条例の
一部を改正する条例
の制定について

町長、副町長及び教
育長の給料及び旅費
等に関する条例の一
部を改正する条例の
制定について

東員町職員の給与に
関する条例の一部を
改正する条例の制定
について

人事院勧告により、国家公務員のボーナスが引き下げられました。

これに準じて町議会議員、町長・副町長・教育長、町職員の給与条例の一部を改正するものです。

期末手当を0・05か月分引き下げます。

反対討論（大崎議員）

町職員は、コロナ禍の中で、公務遂行のため、懸命に働いています。職員のモチベーション低下を招きかねない給与の引き下げは、町民にとっても不利益であります。

公務員の給与引き下げは、すべての労働者の労働条件引き下げにつながります。また、地域経済に悪影響を及ぼします。

以上の理由で、条例の制定に、反対します。

議案審議結果

令和2年 12月定例会

○賛否の分かれた議案○

審議結果	議案名	議員名													
		大崎昭一	広田久男	中村等	伊藤治雄	片松雅弘	大谷勝治	三林浩	山崎まゆみ	島田正彦	南部豊	水谷喜和	川瀬孝代	三宅耕三	山本陽一郎
可	東員町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
可	令和2年度東員町一般会計補正予算（第5号）	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○

議長（-）は採決に加わらない。ただし、可否同数の場合は議長裁決。○は賛成、×は反対。

○全会一致の議案

審議結果	議案名
可	固定資産評価審査委員会の委員の選任について
可	東員町防災行政無線（同報系）デジタル化整備工事請負契約の締結について
可	東員町議会議員及び東員町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の制定について
可	東員町まちづくり基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について
可	東員町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
可	町長、副町長及び教育長の給料及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
可	税外収入金に係る督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部を改正する条例の制定について
可	東員町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
可	東員町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
可	桑名広域清掃事業組合理約の変更に関する協議について
可	令和2年度東員町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
可	令和2年度東員町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
可	令和2年度東員町介護保険特別会計補正予算（第2号）
可	令和2年度東員町下水道事業特別会計補正予算（第1号）
可	令和2年度東員町一般会計補正予算（第6号）

一般質問

一般質問とは、町政財政全般について、町長の考えや疑問点を
ただ質す政策論議のことをいい、定例会のみ行われます。

1. 片松 雅弘	8
1. 介護予防について	
2. 山崎 まゆみ	9
1. 「未婚・晩婚化対策」の施策の充実について	
2. コロナ禍での男女共同参画の実現について	
3. 広田 久男	10
1. マメマチプロジェクトについて	
2. 東員駅前活性化～PRショップについて	
3. サッカー場の駐車場について	
4. 役場前の歩道について	
5. 役場および文化センター敷地内外の清掃について	
4. 大崎 昭一	11
1. 平和啓発について	
2. 第6次総合計画素案について	
3. 国民健康保険料軽減について	
4. 介護保険料軽減について	
5. 川瀬 孝代	12
1. 重層的支援体制整備事業について	
6. 中村 等	13
1. コロナウイルスの状況と現在の町対応・検証について	
2. 町民プールについて	
3. 県道、国道、町道の安全について	
7. 伊藤 治雄	14
1. 医療に関する予防対策及び支援について	
2. コロナ禍における公共料金の減免措置について	

7 町政を問う

原稿は本人が作成したものを原文で掲載しています。



過去の一般質問はこちらから



片松 かたまつ

雅弘 まさひろ

町の介護予防は フレイル予防に取り組みます

問

介護保険制度は創設から20年となり、要

介護認定者数、介護保険料は、全国平均では約3倍に増えています。保険料は上昇する一方、特別養護老人ホームの入所待機問題やサービスを十分に受けられない「保険あつてサービスなし」の指摘もあります。

また、東員町の健康寿命は県内でも上位ですが、今後さらに増加する独り暮らし世帯や高齢者世帯が※フレイル(虚弱)に進まないように、住み慣れた地域で健康に長生きするための施策が必要となってきます。

「地域における支えあいの仕組みづくりはさらに進める必要があります。」

コロナ感染拡大の中、地域カフェなどの通いの場・集いの場を積極的に地域支えあい活動を頑張っている団体や地域に支援など考えていませんか。

答

健康長寿課長 要介護認定率は、8月末

現在、県内でも最も低く、全国でも低い方から4番目となっています。高齢者の皆さんの健康意識の高さに加え、74歳までの前期高齢者の割合の高い本町特有の人口構成も影響しているものと考えられます。

現時点では町の介護保険事業は健全な運営状態であると感じていますが、将来的には厳しい状況になることを予測しています。高齢者の皆さんが住み慣れた地域で健康に長生きしていくためには、町の介護予防や

※フレイルとは
加齢によって身体的機能や認知機能の低下がみられる状態のことで、多くの方はフレイルを経て要介護状態へ進むと考えられています。



お茶しませんか

健康づくりの推進・地域の支えあいの仕組みづくりなどに積極的に取り組む必要があると思います。
新たな取り組みとして、住民が主体となりフレイルの兆候に気づき、予防・改善に取り組むことを目指す「フレイルサポーター養成事業」を早期に進めます。

コロナ禍の中でも感染防止対策を行いながら再開される地域支えあいカフェなどの地域活動団体に、新たに再開支援補助金の支援策で最大限支援します。



山崎まゆみ

結婚支援施策の充実を 世話やき人の活動に期待

問

結婚に対する考え方の変化やライフスタイルの多様化などにより、未婚化・晩婚化が進み、少子化の大きな要因になっています。県の意識調査によると「いずれ結婚したい」と思っている「出会いがない」の回答が上位にあがっています。結婚支援の取り組みが求められます。次の3点について伺います。

- ① 未婚・晩婚化対策の推進は。
- ② これまでの未婚・晩婚化対策セミナー実施の効果をどう見えていますか。
- ③ 出会いの場の支援について民間との連携はどうですか。今後はどのようなしていきたいですか。

答

町長 ①未婚晩婚化の要因は、若年層の

経済的問題や出会いの機会の減少などがあります。これら複数の要因から、未婚晩婚化の明確な対応策を打ち出しにくい状況です。

②平成28年度に未婚晩婚化対策セミナーを開催しましたが、男女共に一般公募の参加者はわずかで効果が得られず、以後実施していません。

③平成28年から結婚支援ができるような人材養成として「世話やき人講座」を実施した成果もあり、「世話やき人」の市民活動が始まっています。

本人が出会いの場に出向くことが重要で、実績につながるかと考えます。世話やき人の地道な活動に期待しています。

コロナ禍での男女平等は

問

コロナ禍で社会的弱者の課題が顕在化し、私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。次の2点について伺います。

①母子世帯の窮状がクローズアップしていますが、町の状況と支援はいかがですか。

②コロナ禍など非常時に固定的な性別役割分担意識に起因する課題が顕在化しますが、いかがですか。

答

町長 ①生活資金の貸し付けに係る相談が多く、町社会福祉協議会

と連携対応しています。町独自の「子育て支援臨時特別給付金」を児童手当受給世帯に実施すると共に、保・幼稚園、小中学校の給食費を令和2年12月まで無償にしています。

また、低所得のひとり親世帯に対して、町独自に上乘せ給付金を実施し経済支援を行いました。

町民課長 ②町では今年度「女性の就職サポート事業」としてオンライン講座を実施しました。自治会の方針決定の場など、地域活動への女性参画を呼び掛けます。



庁舎ロビーにある「メモリアルフォトブース」



広田 久男
ひろた ひさお

マメマチプロジェクトの進展は 栽培技術の確立に取り組んでいます

問 本町では、大豆を特産品にして農業と町を活性化しようと「マメマチプロジェクト」を進めています。

これまでの実績や今後の計画を伺います。

答

町長 本事業の根幹である新しい大豆「ななはまれ」の栽培を、農業法人2社で2年前より試験栽培を行っています。

しかし、異常気象(集中豪雨)などの被害を受け、必要な収穫データを得られていません。

今年は新型コロナウイルスにより販売減少が懸念されたので、栽培面積を2ヘクタールに縮小し、栽培技術の確立を重点にして取り組んでいます。

また、6次産業化事業を試験的に開始するため、老朽化に伴って活用停止中の農産物加工処理センターを、大豆の商品開発や研究、豆腐・油揚げなどの加工場に

改修整備することを検討しています。

駐車場が不足です

問

先月開催された「ヴィアティン三重」の最終戦は来場車両で混雑していました。

現状の駐車場で、対応できるのか伺います。

答

町長 本町スタジアムをホームグラウンドにして活動する「ヴィアティン三重」は、昇格条件の4位以内にわずかに届かず、J3入りは持ち越しとなりました。

J3へ昇格したときには2千人以上の集客が見込まれ、現在の東員スタジアム周辺の駐車可能スペースでは厳しいと考えます。

サポーターの皆さんには、公共交通機関の利用をお願いしますが、駐車場整備についても、早急に検討しなければならぬと考えてい

ます。

本町を本拠地に、期待を背負って全国で戦っているのですから、私たちは、ヴィアティン三重をしっかりと応援し、東員町のチームが全国区になって、東員町の名を発信してもらいたいと思います。

全国で活躍してくれることを願い、駐車場増設を含め環境整備については、早急に検討したいと考えます。

再質問(一問一答)

問

試合当日、駐車場周辺を調べましたが、臨時駐車場(役場や総合文化センター西側など)が分かり難いので、もっと目立つ看板を設置してはごうですか。

答

町長 分かりやすい看板の設置など、改善できることはすぐにも対応したいと考えます。



大豆認定商品

国保料引き下げを求めます 保険料の抑制に努めています



おおさき
昭一
しょういち

問

国保料引き下げを求めます。わずかな年金で、高すぎる国保料に高齢者は苦しんでいます。保険料引き下げへの努力はいかがですか。

答

保険年金課長 本年の保険料は1人当たり9月末時点で10万3942円です。保険料の引き下げは、医療費とリンク（関係）することから、40歳以上の国保加入者を対象に特定健診や保健指導を行うとともに、価格の安い後発医薬品の使用を促進し、医療費の抑制に努めています。また、財政状況に応じて、前年度繰越金や国保財政調整基金を活用し保険料の抑制に努めています。本年度は、前年度繰越金から1千万円を充当し、1人当たり換算で1867円の抑制効果となっています。

介護保険の充実

問

介護保険の加入者と家族は、高い保険料の引き下げとサービスの充実と相談しやすい対応を願っています。取り組みはいかがですか。

答

健康長寿課長 高齢者の相談窓口である、地域包括支援センターの機能強化を図り、身近な地域で気軽に相談できる体制を整備しました。年齢を問わず、すべての住民の皆さんの「福祉総合相談窓口」として相談に対応し、延べ相談件数は、2千件近くです。高齢者の皆さんには、活動自粛に伴う健康被害を防ぐためにも、家の中でも簡単な体操や親戚、友人と電話で会話をするなど、取り組んでもらうようお願いいたします。

さらに、健康対策には社会参加が効果的です。感染拡大防止を図りながら、地

域の活動にも可能な範囲で参加いただければと思います。

町としましても、皆さんが安心して社会参加できるように、住民主体の介護予防・地域支えあいの活動団体に対し、事業を再開できるように、補助金などの支援策を検討していきます。

現在の本町の介護保険料は、三重県内で一番低く、65歳以上の高齢者のうち、

介護認定を受けている割合も一番低いです。これは高齢者の皆さんの健康への意識、取り組みが健康長寿の町に繋がっていることを示しています。

全町一丸で健康に対する意識の向上、フレイル予防の取り組みを推進し、介護保険料の上昇を少しでも抑え「健康長寿のまち」の継続を目指します。



ジェネリック医薬品で医療費削減

かわせ
川瀬

たかよ
孝代



重層的支援体制整備事業は 実施に向けて検討を進めます

問

重層的支援体制整備事業を積極的に取り組むことが必要と考えますがどうですか。

包括的な相談支援、断らない相談支援や地域づくりへの支援、参加の支援の3つの体制への取り組みはどのようにですか。

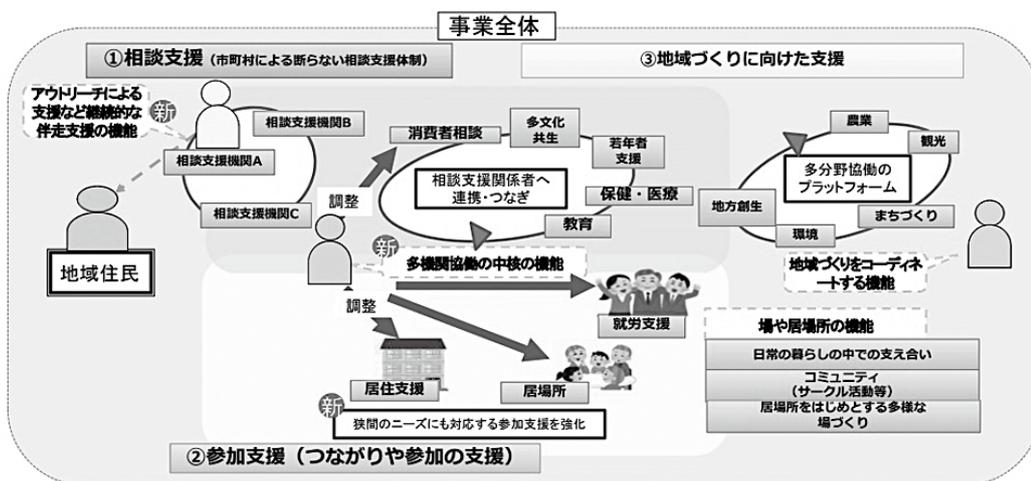
答

また、地域福祉計画、活動計画の策定、地域共生社会を目指していくために、社会福祉協議会の役割をどのように考えていますか。

町長 重層的支援体制整備事業は、既存の相談支援などの取り組みを維持しつつ、地域住民の複雑化したニーズに対応するための包括的な支援体制を構築する事業です。令和2年4月から地域包括支援センターに総合的相談窓口機能の構築を進めています。十分とはいえませんが、この事業は、地域共生社会の実現のために重要であると認識しています。福祉関係課や社会福祉協議会を中心に関係機関などと連携して事業実施に向けて検討を進めていきます。

地域福祉課長 支援体制の3つの体制は、多様な問題を福祉関係課、社会福祉協議会を中心に介護・障がい・子ども・困窮などの相談事業の一本化に向けて検討を進め、支援体制の構築を考えています。参加支援では、地域資源を生かしながら、社会参加を促していくことですが、地域づくりとも関連します。就業支援などを提供し、社会とのつながりを回復させる支援となります。地域の協力が必要と考えます。地域づくりでは、地域社会からの孤立を防ぎ、多世代との交流の機会や活躍の場の確保が必要です。現在、社会福祉協議会の働きかけで、地域座談会を開催し、カフェや見守りなどを地域に広げています。

地域福祉計画は、現在の各福祉分野で策定している計画との整合性を図り、社会福祉協議会の地域福祉活動計画と合わせて策定を検討していきます。



ともに生きることをめざして

町民プールの今後は 教育委員会から廃止の方針



中村 等 なかむら ひろし

問

令和元年9月4日の
激雨で主要なモータ
ー部などが浸水し使用でき
なくなった町民プールに
ついては、教育長から1年
かけてしっかりと検討する
との説明がありました。が、
どうなっていますか。

答

教育長 令和元年9
月の豪雨により町民
プールの機械室が浸水し、
電気制御盤、ろ過ポンプモ
ーターなどが使用不能な状
態になりました。

教育委員会は1年をか
け、今後のプールの在り方
について各種委員会などで
検討しました。

改修方法と費用、年間維
持管理費、プールの役割、利
用者の思い、公共施設等総
合管理計画や今後の取り組
みなどを検討しました。

プール槽自体も老朽化
により改修が必要で、再稼
働には多大な費用が必要と
なり、総合的に勘案した結
果、教育委員会としては、残

念ながら町民プールは廃止
すべきとの結論に至りまし
た。

再質問（一問一答）

問

プールの存在意義に
あたっては、町民が
求める機能や他の類似施設
との住み分けを考慮し、明
確な目的を持って取り組む
べきと考えます。

答

町長 教育委員会の
結論を了とし、尊重
します。

問

町長はどのようにお
考えですか。



廃止の方向に

答

社会教育課長 新た
に小規模なプール建
設は難しいと考えます。

また、親子や子ども同士
が気軽に水に触れる機会を
提供できる施設は重要であ
り、親子の親睦や子どもの
教育上においても有効であ
ることから、今後は「公共施
設マネジメント事業計画」
などを作成し、町の身の丈
にあった、親子や子どもに
対象を絞った小規模なプー
ルを建設するといった検討
が必要であると考えますが、
いかがですか。

中学生にピロリ菌検査を 実施に向け検討します



伊藤 治雄

問

医療の予防支援に関し3点質問します。

①胃がん予防対策としてピロリ菌検査を、効果が大きい中学3年生を対象に学校健診の中で実施してはいかがでしょうか。

②インフルエンザ予防接種に関し、コロナ禍の生活が厳しく罹患リスクの高い高齢者や就学前乳幼児を対象として全額補助してはいかがでしょうか。

③不妊治療に関し検査・治療を行っている夫婦は6組に1組あり、経済的にも精神的にも深刻な問題となっています。

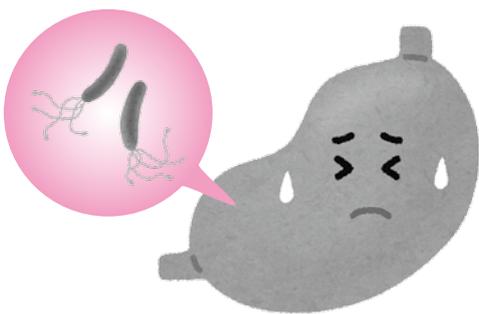
不育治療も含め助成額の増額など現制度の改正について伺います。

答

健康長寿課長 ①ピロリ菌は、できるだけ若いうちに除菌することが大切とされ、中学生を対象として取り組む自治体もあります。十分な検証、国の指針などの動向を注視しながら検討します。

②接種率は昨年に比べ2倍以上となっています。支援措置の拡大はワクチンの供給がひっ迫し、接種機会の確保に支障を生ずることから、今年度は現在の自己負担金額で協力をお願いします。

③不妊治療費などの助成は増加傾向で、治療費は多くの方が百万円以上を要し、経済的負担の軽減が求められています。少子化対策の一環として、国の動向を注視し効果的な支援を進めます。



胃がんの多くは、ピロリ菌が原因です

再質問（一問一答）

問

ピロリ菌検査は子どもたちの将来の安心を担保する面から、実施する考えはありますか。

答

健康長寿課長 将来的リスクを考えると検査は必要であり、令和3年度からの実施に向け検討します。

水道基本料金の減免を

問

水道基本料金の減免は、町内全域の家庭の生活費や事業所の固定費に影響を及ぼすため、長期間の施策とすればコロナ禍における効果は大きいと考えます。国の第三次補正予算も視野に入れ、減免する考えはありますか。

答

町長 現時点での緊急対策としての水道基本料金の減免効果は薄いと考えます。県下では19市町が実施し、10市町が実施していません。事業の選択と集中により、本当に必要などころへ支援し、柔軟かつ効果的な施策に取り組めます。

傍聴者の声

議会だより第145号(9月定例会)読者、および、12月4日と7日に行われた一般質問を傍聴された皆さんからいただいた感想やご意見を、整理し抜粋して紹介します。

☆いただいたご要望の中で、行政が担当するものは連絡し対応を依頼しました。

読者意見～感想など

- 議会の内容が良く解ります。町の取り組みも良く解って助かります。
- 高齢者にも解りやすく、また、写真も多くて楽しみにしています。
- 「議会クイズ」、毎回楽しみにしています。
- 「まちの話題」は、それぞれ自治会独自の工夫をこらした情報が伝わり、興味深く拝見しています。
- 京都に住む息子から「A E R Aの特集で東員町が1位だよ!」と連絡が来て、思わず週刊誌を買いに走りまわりました。そのような東員町に住んでいる私たちは幸せであり、誇りに思いました。

読者意見～要望など

- 城山地区の道路アスファルトにヒビが多々見られるので、舗装修繕をお願いします。
- 老眼のせいで見づらくなってきています。今まで感じなかったこと(例えばグリーンにグリーン字、ブルーにブルーの字が…)、徐々に増えています。検討ください。
- 令和2年の夏はコロナ禍で外出できず、町民プールも老朽化と水害故障で使用できず。今度の夏は町民プール再開をお願いします。
- 年金生活者にやさしい町にしてください。
- 少人数学級をぜひ実現させてほしい。コロナが心配です。子どもの安全・安心をしっかりと考えてください。

読者意見～エール(応援や期待)

- 次年度の予算確保も大変だと思います。投機的なことは一時的に停止し、コロナ対策・経済対策を重点的に予算分配して、立て直しに尽力してください。
- 東員町の教育や福祉の政策は、随分良いのだそうです。若い転居者方はネットで細かく調べていました。活躍を願っています。
- 「一般質問」は、今現在、知りたいことの質疑応答をしてくださっているので、よく理解できて助かっています。今後も解りやすく掲載していただければ嬉しいです。
- 「傍聴者の声」のページがよかったです。今回は無かったですが「追跡」のページも気に入ってます。「一般質問」以外の企画に期待してます。

傍聴者アンケート

- 私は聴覚障がい者です。情報保障(音声を字幕にして映し出す、手話通訳など)は、3人以上が必要になることを知っておいて下さい。大変とは思いますが、早くホームページにアップしてください。
- 質問内容があまりにも東員町の現実、将来に対して具体的な項目になっていないと感じます。
- 行政側の回答が具体的な内容になっておらず「進めていきたい」で大半が終わっています。議員方は「もっと具体的な回答を出すよう」強く求めてもよいと思います。
- あの自治体は良かったと言われても規模が違い過ぎます。東員町の規模に置き換えて、実現性のある提案をすべきです。

クイズ当選者

今回も多数のご応募をいただき、ありがとうございます。ありがとうございました。

正解は
問1 819人
問2 3件
問3 8人

多数の正解者の中から抽選の結果、当選された15人の方に図書カードを贈呈します。

- *六把野新田 伊藤三千子様
- *城山 3 井上 智和様
- *笹尾東 1 大橋 哲男様
- *笹尾東 2 岡本 陽子様
- *八幡新田 小川登紀子様
- *笹尾西 1 川内 泰子様
- *笹尾西 2 桑原 江利様
- *城山 2 澤井 正枝様
- *城山 3 高木 峰男様
- *鳥 取 辻 さき子様
- *山 田 橋本 夢愛様
- *城山 3 松野 順子様
- *笹尾西 2 真野 隆久様
- *六把野新田 三林みつ子様
- *笹尾西 3 宮前 高美様

まちの話題

みんなでやるまい! フライングディスク ～東員障がい児者友の会～

2021年10月に開催される「三重とこわか大会」のフライングディスク大会の開催地は、東員町陸上競技場です。

フライングディスクとは、プラスチック製の円盤を投げる競技で、一般名称はフリスビーです。

当会は、参加者一人一人の思いをみんなで受け止め、応援し合う環境づくりを心がけ、出場権獲得に向けて練習に励んでいます。



編集後記

新型コロナウイルス感染症による影響は、教育・福祉・産業分野、さらには一般の家庭に至るまで、あらゆる生活に及んでいます。

今後さらに影響が広がりが行政や地域の役割が増すことが予想され、それに伴って行政施策の効果検証や政策提案など議会の役割も大きくなります。

また、議会も感染防止対策で傍聴制限など、一部制限しての開催でした。

議会での議論が町民の皆さんに、わかりやすく届くよう、議会だよりの役割が、ますます高まってきました。

期待に沿えるよう紙面づくりに注力していきます。

令和3年は良い年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

(片松 雅弘)

次回の定例会は
令和3年3月1日
開会予定です。
傍聴、お待ちしております。

議会広報常任委員会

委員長/三林 浩
副委員長/広田 久男
委員/片松 雅弘 大谷 勝治
山崎まゆみ 三宅 耕三



コロナに負けるな(城山小 マラソン大会)

一般質問の議事録はホームページで公開しています。議会事務局でも閲覧できます。